

静岡大学で27年ぶりの新学部として2023年春にスタートしたグローバル共創科学部は、今年で4年目を迎えました。魅力ある学びがいっぱいのグローバル共創科学部の今をご紹介します！

魅力1 フィールドワーク科目 コラボラティブ・ワークス

他者と協働し、知をつなぐ方法を実践的に身につける！

本授業は、学生が複雑化する社会的課題への取り組み方を学び、持続可能な未来づくりの担い手(共創型人材)として育つことを目的とするフィールドワーク科目です。実際に課題が生まれる現場で、専門家や企業、自治体、地域住民など現場の関係者とともに課題解決に向けて協働する経験を積みます。取り組むテーマは福祉や環境、スポーツなどさまざまで、企業との共同研究や自然観察、まちづくりなどテーマに適した方法で行います。



農家の皆さんとお茶を収穫

自分の関心のある農業の現場に直接関わることができるのが一番の魅力です。中山間地域で農家の皆さんや多くの関係者との活動をおして“責任感”も学びました。

3年
柳岡剛日人さん



4年目を迎えてますます進化しています

文理融合の「総合知」を育む本学部は1～4年生が揃う完成年度を迎え、2027年春に第一期生を送り出します。コラボラティブ・ワークスや海外研修、防災等の地域実践による体験学習で培った学生の主体性と探究力は極めて高く、共創型ステークホルダーズ・ミーティングの開催を通じて、その真価を広く地域に発信しています。共創アプローチの理念のもと、新研究科への進学や多領域での躍進など、未来を拓く多様な挑戦に大きな期待が寄せられています。



グローバル共創科学部長
江口 昌克 教授



オーストラリアで海外研修



静岡市内のお寺で
子どもたちと勉強

地域で子どもの居場所づくりに取り組んでいます。地域で定期的に活動することで、現地の方が抱えている課題をより具体的に把握することができました。

3年
(左) 前田楓季さん
(右) 吉野来南さん



自転車ツーリズムの取り組みを学習



日本最大のモスク(東京・渋谷区)で
訪れた皆さんと交流



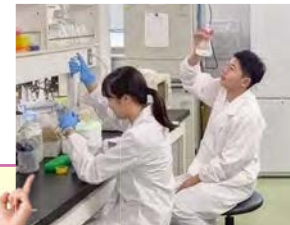
グローバル共創科学部

進化する学びを学生がレポート！

魅力2 文理融合

文系・理系の枠にとらわれない学びを実践！

高校では文系選択でしたが、「バイオエコノミー概論」や「カーボンニュートラル科学」などの授業をきっかけに理系の研究室に所属し、微生物の代謝活動による環境浄化作用について研究しています。文系・理系の両方の視点から研究活動に取り組んでいます。



研究室メンバーと実験中



4年
西森天飛さん

魅力3 海外研修

留学を支援！半数以上が留学を経験

大学に入ってから留学を意識するようになり、留学前はオーラルコミュニケーションの授業で英語を話すことに重点を置いて準備しました。学部全体が留学に協力的で、約1年のルーマニアでの留学中も先生方にはオンラインなどで多くのサポートをしていただきました。



さまざまな国籍の留学先の
友人たち



4年
徳留香雪さん

魅力4 学び+地域社会の視点

異なる分野を組み合わせることで学びを深める！

高齢者の継続的な運動が認知機能の維持・改善にどのような影響を与えるのかをテーマに研究しています。運動や健康に関する知識だけでなく、地域での活動をおして学んだ地域の視点・課題も取り入れ、複数の分野を組み合わせた研究を進めています。



地域住民に運動プログラム
について説明



4年
三浦舞彩さん

魅力5 学びを社会で実践

在学中から社会課題解決に向けアクション！

災害ボランティアなどの社会貢献活動の経験を活かし、ボランティア活動をする静大生がつながる学生団体を立ち上げたほか、防災分野の全国学生間ネットワークの構築に挑んでいます。学部で学んだ幅広い視点で物事を見ることやファシリテーション能力などが役立っています。



災害に関する募金活動を実施



4年
西ヶ谷直樹さん

グローバル共創科学部 最新News！



静岡大学
グローバル共創科学部
WEBサイト

\\New!!\\ 入試が変わります

本年度実施する令和9年度入試(主に現在高校3年生の方を対象とする入試)から、定員、募集枠、選抜方法等を変更します。高い実践的経験や探究活動に取り組んできた方が、その成果と問題解決力を発揮し、さらに発展させることができる入試へと変更します。

\\New!!\\ 大学院ができます

令和9年4月に大学院修士課程「グローバル共創科学研究科」を設置します。文理融合の「総合知」を駆使して地球環境の問題から国際・地域コミュニティの持続的ウェルビーイングの創出が可能な共創型研究を主導できる高度な共創型人材の養成を目指します。



くわしくは
こちら



くわしくは
こちら